

えどがわの女性

vol.42
2021年
12月



江戸川区
聞き書き
研究会

聞き書き研究会は、江戸川区を愛し、江戸川区で強く逞しく生きた女性の姿を聞き書きとして残すため、江戸川区女性センターの区民ボランティアが2010年に始めた活動です。女性センターは2020年に人権・男女共同参画推進センターに統合され、この活動を所管しています。

「きり絵・日本画・油絵・俳画」 —さまざまな出会い—

おき あつ よ
沖 渥代

1940年(昭和15年)
江戸川区平井生まれ
清新町在住



■北小岩 —きり絵と出会う—

やっていたのよ。上の子が、中小岩小学校で。図工の先生が教えるの。今は色を使っているけど、切り絵は白黒が基本。一直線に切るのが大変なのよ。紙を動かして切るの。黒い紙にカッターナイフで描かれた蝶を、白い台紙に載せる。白と黒のコントラストがすごくきれい。細かい作業が苦手な娘にせがまれて、わたしもカッターに挑戦。おもしろくなって、自分でデザインしたのを切ってやってみたの。それがわたしときり絵の出会い。

「日本きりえ美術展」というのがあって、東京都美術館へ観に行ってみたの。刃の切れ味がダイナミックなのに繊細な作品の数々。すばらしかった。わたしのきり絵人生がスタートしました。

その当時、絵本「モチモチの木」の版画家滝平二郎さん、旅行会社のポスターを手掛けてた関口コオさんとかが第一人者だったわね。ほとんど挿絵画家とか絵に関係したひとたちだった。わたしはもともと日本画と洋画をやっていたからね。

岩井喜一先生にきり絵の基本を教えてもらい、昭和53年(1978年)から「日本きりえ美術展」に出すようになった。その後も個展や美術展を経て、すばらしい出会いがありました。平成5年(1993年)には、念願の作品集を発刊したの。当時の中里喜一区長に推奨文を書いていただきました。

■平井・小岩 —習い事を身につけて—

平井で生まれて、小岩で育ちました。父はガラス工場を経営し、資生堂や鐘紡の化粧品瓶や、それからペニシリンの瓶も造ってた。昭和20年(1945年)の平井・小松川の空襲は覚えています。父の会社が小松川高校のところにあつて、やられたのよね。すごたくさん爆弾が落ちた。あの時は、花火みたいできれいだと思って見てたの。上の兄たちは出征。下の兄と姉たちは鶴岡(山形県)へ学童疎開していて、一番下のわたしだけが平井に残っていた。

5歳で小岩に越して、中小岩小学校、小岩三中、都立高校に通った。子どものころは缶蹴り、石蹴り、綾取りして遊ん

だわ。本を読むのも好きだった。

昔はね、女の人ってね、お稽古ごととか、何かひとつ、お花とかお茶とかやっていた。わたしは日本画と洋画と両方やっていた。姉たちがお茶だったからね。姉と同じことをやりたくなかったの。日本画は菊地公明先生。江戸川区の文化賞ももらったひとね。おじょうさんが、わたしと学年が一緒だったのかな。「わたしも習いたいな」「来てもいいとお父さんが言ってるよ」と。基本中の基本ぐらゐ教わったのかなあ。あの先生は仏画、わたしは美人画。油絵は桜井康寿先生に。日展(日本美術展覧会)で何度か入賞したひと。うーん、ほんととはね、日本画と油絵でタッチが全然違うんだけどね。ふつうは油絵やったら日本画はやらない。わたしは同時進行でした。あのころ、油絵具は高かったけどね。

お琴は会社の受付にいたひとから習っていた。習い事が好きだったのよ。うちの父と母なんか、「お稽古事を身につける。身につけたものはなくなるない」って。そういうことにお金かけたの。手芸一般、いけばな古流、生田流正派、箏曲師範よ。大学に行きたかったけど、父親が「絵の学校なんか行ってもしょうがない」って。行っとけばよかったと思つてね。両親がね、明治の人だからね。今とちがってね、好きなことなんてさせてもらえなかったのよ。

■明石 —結婚して—

結婚は昭和40年(1965年)、25歳でした。夫は2歳年上。東京駅の建物の中にあつた大林組で働いていたの。わたしは日立製作所本社。丸の内に通勤してたの。大林の独身寮って船橋にあつた。わたしは小岩にいたから、総武線、秋葉原で乗り換えるの。いつも電車に乗るとき同じ時間で一緒になった。はたちから5年くらい付き合ったわよ。彼は途中で大阪本社に転勤になって遠距離恋愛。東海道新幹線に乗って会いに行くの。彼は大阪万博(1970年開催)の日本民芸館を担当していた。わたしのほうが時間に余裕あつたからね。

大阪の太閤園で結婚式を挙げた。当時は「OL25歳定年退職」なんていわれて、長く居ると嫌がられる時代だったのよ。

夫の実家が明石市だったから、明石で暮らしていた。

レース編みしてたのよ。こういう立体編みのとか。そんなことしなくてもよかったんだけどね。たまたま袋ものとかレース編みとか頼まれて。レース編みもね、普通のものはいやなの。やりだしたら何時間でも。

子どもはふたり。長女と二女、ふたりとも里帰り出産。

明石のおばあちゃんは宗教活動に熱心で、いつも人が大勢出入りしていているさくしょうがない。近所にアパートを借りて別居しました。おじいちゃんは大阪で印刷工場を営んでいた。思って、最後は寝たきりだった。おばあちゃんが夜中に呼びにくるのよ。「おじいちゃんが、『にいちゃん、にいちゃん』と言っている。夫が明け方まで付き合っ、それから大阪の会社へ行くのよ。明石から大阪はけっこう遠いのよ。これがたびたびだから、仕事を持っている夫のほうが疲れてしまって。わたしが「一緒に暮らしましょう」と言って、ふたたび同居することになった。

嚔下障害とんげしやがひというのが出てきてね。飲み込めないから、肺に水だのに入って肺炎起して入院する。その繰り返しだったの。千里せんり(大阪府)の病院に通うのに、子どもたちの面倒みられないから、小岩の姉に預けてね。だんだん歩けなくなって、おふろもトイレもわたしが介護していたのよ。

そして、昭和48年(1973年)に、夫は東京支社へ転勤。わたしたちは小岩に戻ったの。

■ 清新町 —さまざまな出会い—

夫がもう少し広いところに行こうと清新町に越したの。昭和58年(1983年)。夫は建築関係だから詳しいのよ。見学のときに、お昼ごろから来て夕方まで陽の当たるところを見てみたいの。ここ埋立地だからね。「なぎさ和楽苑」(西葛西)あるでしょ。あそこまで海だったのよ。

自治会役員とか「清新きり絵サークル」を主宰したりしましたね。清新一中(清新第一中学校)の開校式で、校長先生が「こどもの絵だけじゃ寂しいから親の絵も出したい」と言ってね。わたしのきり絵「あじさい」を出したの。それを区長さんが目に留めてくださって、「この作品はこうやって置いておくのはもったいない。みんなに見せてあげたらどうですか。」というので江戸川区に何点か寄贈したの。

なんかね、新聞にわたしの記事が掲載されたとき、NHKのひとの目にとまったらしくて、「お話を聞きたいから」と電話かかってきてね。それで、「カルチャー教室の講師をやってもらえないか」と。昭和60年(1985年)から東陽町できり絵と俳画の講座を持つことになった。次にNHKから紹介されて宮城県の仙台へ、俳画を



◆ 沖さんの作品集『あじさい』

ね。土曜日の朝いちばんで行って、鶴岡(山形県)で俳画ときり絵を教えて、一泊して、朝早く高速バスに乗って月山を越えて、仙台へ。俳画を午前中教えて、夕方自宅に帰ってくるの。毎月ね。

平成9年(1997年)からは江戸川区のカルチャーセンターでも、「日本画」と「創作きり絵」と「俳画」の講座をもちました。「俳画」は絵と書と俳句さんみいつたいの三位一体。いっつき俳画ブームがあったのよ。句はわたしが課題として出すの。句そのものずばりの絵を描いてもだめなのよ。俳画は略画だから。平成22年(2010年)、70歳まで、けっこう長くてね。

昭和63年(1988年)に総合文化センターで個展をやったときね、日本ステンレス(現NSハートフルサービス東日本株式会社)の人が観にきていたの。原画を「下絵に使わせてください」と言われて。ステンレスアートの原画作家になった。きり絵は黒い紙を切るんだけど、ステンレスアートは黒いところがみんなステンレスなの。それを日本ステンレスで覆装して、ガラスじゃなくてアクリルで。だから割れないし、かさばらないし、軽いよ。海外に行く時おみやげに持って行くのにいいのよ。10年くらいやったかな。

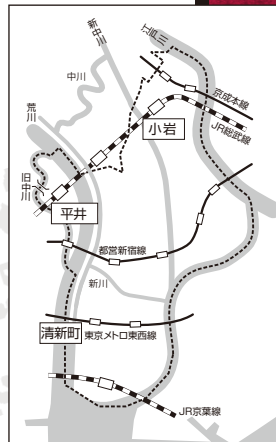


◆ 生徒さんの俳画の前で(2000年)

夫が寝たきりになって、部屋のなかは歩いていただけ。ひとり置いてはいけなから。平成18年(2006年)に泊まりがけの講師は辞めたの。人の手を、娘たちの手も借りるのをいやがって。トイレがね、どうしても。

夫が亡くなったのは平成23年(2011年)でした。遺影のとなりの花の絵、オーストラリアで買ったの。千円くらいだった。芸術村のようなところで画用紙に描いて売っていたの。どんな値段でも作品を買ってもらうのはうれしいものよ、画家にとって。

第一線を退いて、ひとりで暮らしている。絵を描き、歌を詠み、本を読む。清新町、いいところよ。平井で生まれて、小岩から移ってきて、ここがいちばん長いせいかも。東京都が整備した大きな団地というのはここが最後だと聞いていたから。いちばん完成されたところ。道歩いていると小さい野草が、野草の小さい花が美しく見える。ただ散歩しているんじゃないでね、絵になるのよ。野草がね。



◆ インタビュー/2020年9月
2020年10月
2021年9月

◆ 聞き手/村田正子、小宮和枝、山本國子
◆ コーディネーター/樋口政則

◆ お問い合わせ◆
総務部総務課
人権啓発係
☎6638-8089